

【22_255思考系メルマガ】過ぎたるは及ばざるがごとし

〇〇さん

こんにちは！クロガキ(クロ)です。

トレードをやっていると無数に悩みの種が出てくるものですが、その中でも駆け出しのトレーダーを一番悩ませるのは

『迷い』でしょうかね。

「ここでエントリーしても良いのか？」「ここで利確 / 損切りすべきなのか？」

「どれが一番今自分にとって“良いチャート”なんだ？」

こういった迷いの要素は挙げればキリがありませんが、それを払拭し

自分のあらゆる判断に『基準』を持たせ、迷わないようにするためのツールが『型』と呼ばれるものになります。

さて、そんなトレーダーの迷いを払拭してくれる『型』ですが、これもまた扱いを間違えると本来の性能を発揮できず

継続的に稼ぐトレードに繋がっていきません。

どういふことか、じゃあどうするのか？という話が、今日のテーマです。

┌
└■ 『〇〇すぎる型』は機能しない

このサブタイトルでお察しが付いた方もいるかもしれませんが

例えば、『型』に沿ってトレードするからといって、「ガチガチに条件を固め過ぎる」と、それは機能しません。

これは、僕のようなマジメさんタイプ(ツッコミ待ち)にありがちな事例ですが

エントリーに結び付けるまでの条件付けが複雑すぎたり、「エントリーしない条件」を二重・三重にも張り巡らせてしまい

その条件に適合するようなエントリーチャンスが月に2~3回あるかどうか

といったルールでは、特に短期デイトレでは試行回数の積み上げにも時間がかかるので

収支がプラスになっていくまでに途方もない時間が掛かってしまいます。

また、そのように条件を絞り過ぎてしまうと、必然的に待つ時間が非常に長くなるので

そのルールを一貫して守り続けることができるのか？という問題も出てきますね。

ですから、検証・フォワードテストを実施する段階で、チャンスが来る頻度が納得できる水準かを確認する必要があるし

そのトレードを繰り返し実施した結果、『トータルの利回りがプラス』にならなくてははいけません。

▼参考ツイート▼

<https://twitter.com/fxrealtradelive/status/1568421508200136704>

この、条件を『絞る・緩める』のちょうどいい塩梅を見つけるのが、『型作り』において一番手間のかかるポイントであるとも言えます。

特に、エントリーの頻度などはどの程度あれば納得できるかは人によって結構変わりますからね。

そして、この点を考えるにあたって特に重要なのは、『結局、試行回数を重ねた結果 トータルの利回り』です。

この最終的な結果が、プラスにならなくてはいくらチャンスが増えても意味がない。

逆に、この実績データが十分に積み上げられていれば

そのルールから逸脱しない限り、『トレードすればするほど利益が積みあがっていく』とばかりいけるわけですから

必然的に 守るべきルール としての信頼も置けるということです。

なんにしても、エントリーの条件を「絞り過ぎた型」では、仕掛けどころがなくトレードが成立しませんし

一方で、条件が「緩すぎる型」では、なんでもいいからエントリーできる事になってしまい

もはや「形無し」の状態と変わらなくなってしまい、安定した収支を挙げる事ができません。

僕らが『型』を作る上で重要になるのは、ちょうどいい塩梅のチャンスが来る(KUROの場合、1日1回はチャンスが来るのが目安)こと

そして、そのチャンスを捉えてトレードする程、最終的なトータルの利回りがプラスで終わられる状態を作ること。

そのために過去のチャートから規則性を見つけ、型(ルール)を仮組みし

フォワードテストでそのルールの精度を確認するのです。

これらの一連の作業は、都度結果の見直しが必要だし、チャンスを待ってトレードをして・・・

を繰り返すためにそれなりの時間も要しますから、非常に根気のいる作業です。

ですが、これをやり切って、継続的に分析精度を磨く姿勢を持っている人が最終的に勝ち続けることができるトレーダーです。

非常に厳しい世界ですが、この関門を乗り越えられれば、これほどコストを要せずにリスク相応のリターンを得られる "仕事" は他に無いと思いますので

これを読んでくれている皆さんには、どうかその壁を各々の力で乗り越えて欲しいと思っています。